

の4m滝は、左岸を捲いて下る。ここは、ホールドに乏しく、登るのもちよっときつい。

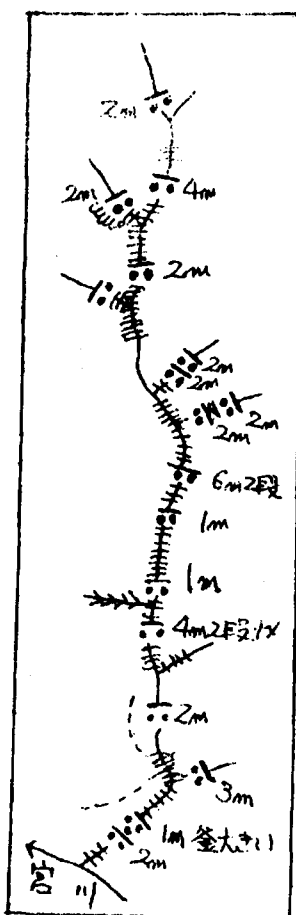
ここまできたら、沢筋が平坦となってきた。そして水道の取水口につく。いよいよこれで終わりかと思っていたら、また滝が出てくる。5mと6mの滝が連続。上の5mは、右岸を捲いて下る。登ることならできそうな滝である。下の6mは、右岸をクライミングダウンするが、最後の方は岩がモロく、参った。あとは深いV字谷となった沢筋を下って、12:30宮川本流に出る。 (記)

[タイム] 四ノ沢下降開始(11:25)→右俣出合(11:50)→下降終了(12:10)

宮川支流六ノ沢

1988年9月17日

南沢支流ハの沢(仮称)の遡行終了後、尾根を越えて六ノ沢(仮称)の下降に入る。



急斜面を下ると、細い流れが出てきたが、沢の規模は小さい。やがて4mの滝。左岸をクライミングダウン。ホールドが細かい。このあとはしばらくナメがつづく。そして6m2段の滝。ナメ状であるが、すべりやすいので、慎重にクライミングダウンする。この沢は、規模こそ小さいが、ナメが豊富で、適当に小滝が出てくる沢のようである。

ナメがいったん途切れると、もう宮川本流も近い。やがて落差は1m程度だが、大きな釜をもつ滝に出る。左岸をクライミングダウンし、そのままトラバースぎみに釜をへつる。続く2m滝の右岸をクライミングダウンすると、宮川本流。25分で下降を終えることができた。

(記)

[タイム] 六ノ沢下降開始(8:20)→終了(8:45)

大久保沢左俣, 右俣

1988年10月9日

八溝山南面の沢は、概して平凡なようである。この大